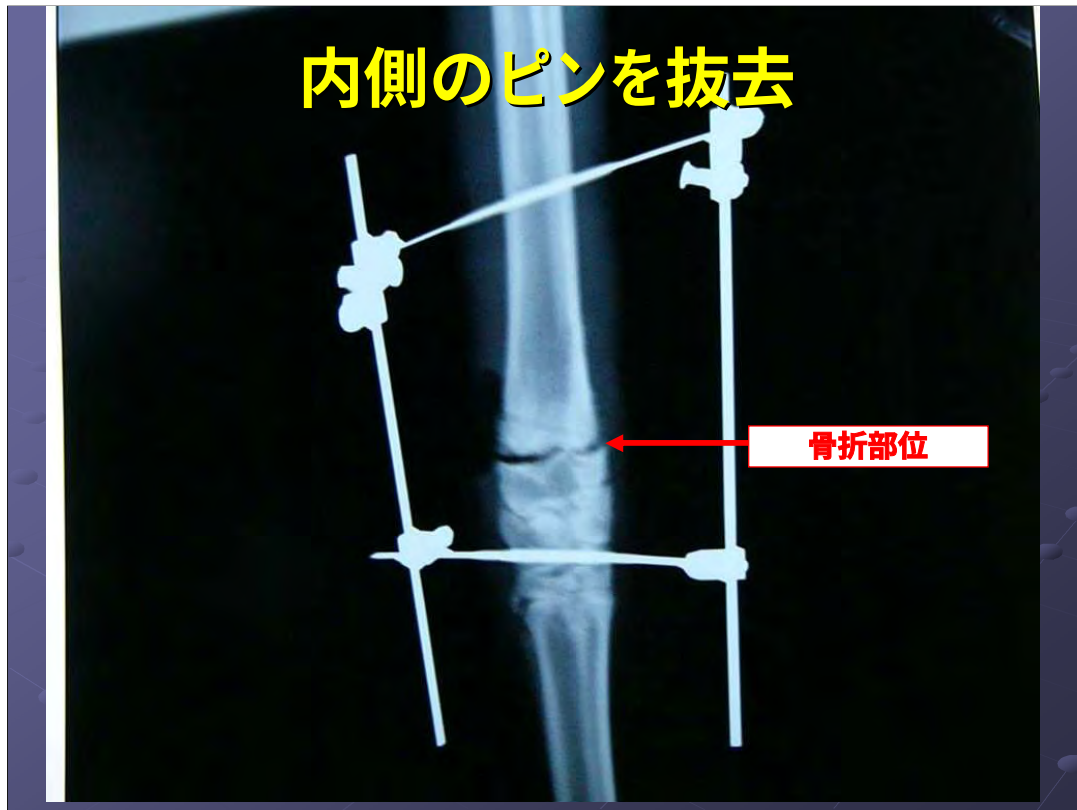




再手術ではまず前日の手術で入れたピンのうち固定力を持たない余分なピンを抜きました。

橈骨遠位、中手骨近位にピンを挿入



次に骨折部の両側を2本ずつのピンで固定できるように2本のピンを挿入しました。



手術後の様子です。麻酔が覚めてすぐに、骨折した足を使って歩くようになりました。感染防御と患部の炎症防止のため抗生物質と抗炎症剤の投与を継続しました。